

全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2017年7月3日発行

No.19

なごうじゅ。

SAGAでポジティブ・フー

九州青年集会在佐賀

6月9～10日、佐賀県佐賀市で九州地方協青年集会在開催され、127名が参加しました。

初日は山村勇策青年部長（大分）の基調報告後、神戸市看護大学林千冬氏を講師に迎え「国民に求められる看護とは何か―『特定行為に係る看護師の研修制度』が問われること―」と題した講演がありました。いまの看護現場の状況、特定行為を行うことで、自分たちにとってどういう問題が起きてくるかということを講演していただきました。

講演後は、佐賀地区が企画した「ミニ運動会」をしました。佐賀弁のラジオ体操で準備運動後、8班に分かれて、「ムカデ競争」「二人三脚風船割りリレー」「借り物競争」を行いました。「借り物競争」ではユニークなお題が出て、多いに盛り上がり、最後は参加者全員で人文字で「SAGA」をつくり、記念撮影をしました。

夕食交流会では、毎年恒例となっている各地区紹介を行ったあと、ミニ運動会の結果発表をし、1位の

班には豪華景品が贈呈されました。

2日目は各班に分かれ、分散会をしました。自分たちが働いている

今の状況、年休がとれているか、超過勤務について、今後の青年部活動についてなど話し合いました。「人足りない」、「超勤申請しづらい」など厳しい現場の状況を話す人や「自分は定時で帰れている」という青年もいて、職場の問題を解決したことなどを共有しました。

各班の代表から分散会の報告を受け、全体討論に入りました。討論では、分散会報告へのアドバイスや、集会を通じた感想、青年集会について職場の仲間に伝えたいなどの発言がありました。

記念講演やレクリエーション、分散会、学習に交流にと充実した2日間となりました。



ひなごうじゅ 仲間のきまな

関信青年集会在みなかみ

6月17～18日、群馬県みなかみ町で関信地方協青年集会在「ユースフエスタ2017」が開催され、73名が参加しました。

昨年行った「ラフティング」が好評だったため、2年続けて同じ場所での開催となりました。

初日はまずスポーツレクリエーションを行いました。玉入れやドッジボールをして普段使わない筋肉を動かして、リフレッシュし、交流を深めました。

夕食後は関信名物となっている「打ち上げ花火」。参加者からは「今年初花火」、「キレイだった」などの感想が寄せられました。

花火の後は関信青年委員による寸劇が行われました。職場のよくある事例を取り上げ、組合がどう関わっているのかをわかりやすく参加者へ伝えました。青年委員は仮装をして、笑いもある寸劇を演じました。その後の大交流会では、ビンゴや関東信越地方に関するクイズを行い、上位3班には豪華景品が贈呈されました。



2日目は昨年と同様「ラフティング」と「アップルパイづくり」に分かれて、それぞれの企画を楽しみました。ラフティングは昨年より水量が多く、とてもスリル満点、迫力のあるラフティングで参加者からは「楽しかった」という声がありました。アップルパイづくりは自分のオリジナルのパイを作ってゆっくり過ごしました。

楽しく組合について学び、身体も動かし、とてもリフレッシュできた2日間でした。